

カリキュラム・マップ

コミュニティ福祉学部教育目的	
「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。	

学修成果	
<p>&lt;学部全体&gt;</p> <p>◆学部理念・目的の習得</p> <p>1. 「いのちの尊厳のために」(Vitae Dignitati)という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。</p> <p>◆知識・技術の習得</p> <p>1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。</p> <p>2. 導入教育として実施されている基礎演習をとおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。</p> <p>3. キャリア教育やインターンシップをにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。</p> <p>4. 完成期に配置されている演習科目等をとおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。</p> <p>5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的総合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。</p>	<p>◆現場に立った実地学習の習熟</p> <p>フィールド型学習(福祉学科:福祉ワークショップ、コミュニティ政策学科:フィールドスタディ、スポーツウエルネス学科:スポーツウエルネスワークショップ、そして各学科で履修できるインターンシップ)を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。</p> <p>◆実践能力と研究能力の統合</p> <p>人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴むいて生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。</p> <p>&lt;コミュニティ政策学科&gt;</p> <p>1) 福祉社会の形成基盤としてのコミュニティの構築にあたって、現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力を身に付ける。</p> <p>2) インターンシップ、社会調査実習等の実習型学習プログラムにより意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力を身につける。</p> <p>3) 「コミュニティ政策学」、「コミュニティ形成学」、「コミュニティ人間学」という本学科の3つの教育研究領域を踏まえ、その上で自己の専門的課題を追求できる。</p> <p>4) 国際的な視野から社会問題を分析する力を養う。</p>

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題の追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
コミュニティ政策学入門	専門必修科目	1	本学部で展開されているカリキュラムの中軸のひとつである「コミュニティ基盤の福祉」へ多角的にアプローチすることができる。	◎	○		◎			
コミュニティ福祉学	専門必修科目	1	本学部で展開されているカリキュラムの中軸のひとつである「コミュニティを基盤とする福祉」について、多角的にアプローチすることができる。	◎	○					○
統計学入門	専門必修科目	1	官庁統計や調査報告書を読み解くための基礎知識、統計データの基本的な分析方法や結果のまとめ方、統計の意義について学び、活用することができる。	○	○	△	○	◎	○	○
基礎演習	専門必修科目	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	◎	◎					
フィールドスタディ	専門必修科目	2	様々なフィールドにおいて具体的な「現場」「実地」「実践」などを体験的に学び、自らの問題関心の形成や学習に結びつけることができる。	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
社会調査法	学部共通科目	1~4	社会調査の意義・背景・方法に関わる基本的知識の習得ができる。	○	◎	△	○			
情報処理1	学部共通科目	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的のパソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
情報処理2	学部共通科目	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方や、効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
ウエルネス福祉演習	学部共通科目	1~4	ストレスに満ち溢れた現代社会にあって、「癒し」の体験は、ウエルネス向上を考えるうえでとても重要な要素となる。ここでは自然豊かな森の環境で実際に「癒し」を体験し、癒しを導くノウハウを学習することができる。	◎	◎	△	◎			◎
情報処理3	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
情報処理4	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
グローバル社会で活躍するための英語1 —海外の団体や外資系企業から学ぶ—	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、国際団体など)	○	◎	◎				◎
グローバル社会で活躍するための英語2 —海外の団体や外資系企業から学ぶ—	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、日本企業の商社、外資系企業など)	○	◎	◎				◎
ノーマライゼーション論	学部共通科目	1~4	ノーマライゼーション原理誕生と発展プロセスを取り上げ、この原理を具現化するためにはどうしたらよいかを検討することができる。	◎						
キャリア形成論1 (福祉系)	学部共通科目	1~4	児童、障害、高齢、地域、精神、医療のソーシャルワーカーの領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
キャリア形成論2 (コミュニティ政策系・スポーツウエルネス系)	学部共通科目	1~4	コミュニティ政策・スポーツウエルネスの諸領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
異文化スタディ	学部共通科目	1~4	海外の研修地において社会問題に取り組む諸団体を訪問し、その支援方法を理解するとともに、英語研修、ホームステイにより、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	○	◎	◎	○			◎
ウエルネス福祉論	学部共通科目	1~4	ウエルネスとは何かを理解し、生きがい感を持った全人的QOLの構築には何が必要かというテーマについて議論することができる。	◎	△	△	△			

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題の追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
現代キリスト教人間学	学部 共通 科目	1~4	現代社会において様々な理由によって自己を喪失して行く個とパートナーシップを欠如して行く個に対してキリスト教はどう応えているのかを考察することができる。	○		◎				
コミュニティ福祉とキリスト教	学部 共通 科目	1~4	ユダヤ教とキリスト教の伝統を事例にとりあげ、人間観とコミュニティ理念の形成に宗教が果たした役割を考察することができる。	◎	○	○	△		△	◎
人権論	学部 共通 科目	1~4	私達の身近に存在していても気付かない関係ない難しいものと考えてしまう人権について弁護士の活動を通じた具体的な事例で認識し理解し考えることができる。	◎			○			
福祉文化論	学部 共通 科目	1~4	福祉文化とは何かを探究する。福祉文化の負の遺産に思いを馳せながらワクワクするような福祉文化実践に触れ、感じた事を表現し合う場を創出することができる。	◎						
生涯スポーツ論	学部 共通 科目	1~4	従来の「スポーツ振興」の概念とは異なるスポーツプロモーションの視点から生涯スポーツ論の性格、内容、展開の現状や特徴について理解することができる。		◎	△				
社会保障総論	学部 共通 科目	1~4	社会保障の概念やわが国の社会保障制度の概要を理解し、医療保険及び介護保険を通じて、社会保険に関する基礎知識を身につけることができる。	○			◎			
いのちの倫理学	学部 共通 科目	2~4	学生は、現代社会における「生活」、「生命」、「いのち」をめぐる諸問題について資料に基づきながら現状に対する理解を深め、自分の意見を形成することができる。	◎	◎	△	△			○
高齢社会システム論	学部 共通 科目	2~4	高齢社会を歴史的変革期として理解し、老いをめぐる問題を現代人全世代の生き方が問われる問題として考え、これからの社会への展望につなげる術を模索することができる。	◎		△				
ジェンダー論	学部 共通 科目	2~4	ジェンダー概念を基礎にして、「みようとしなければみえないものをみる力」を各自が醸成すること、自分の可能性を広げることができる。	○	○		◎			
障害学入門	学部 共通 科目	2~4	障害という様々な身体的特質を持つ人たちと、彼らに関わる人たちの話を聞き、その出会いを通じて想像力と可能性を広げ養うことができる。	◎		△	○			
家族社会学	学部 共通 科目	2~4	家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学ぶことをとおして、誰もがもっている家族についての「常識」を相対化することができる。	○			◎			
人間心理の深層	学部 共通 科目	2~4	時として真善美に反したことを考え行動してしまう人間存在とは一体何なのか、それ以前に真善美は人間から超越して存在しうるのであるのかといった事柄について考察する力を身につけることができる。	○		△	○			○
日本の文化と思想	学部 共通 科目	2~4	文化政策を個々の地域で展開していく際、その地域の伝統的な文化や生活観・労働観を如何なる形で取り込んでいったらよいかを考察するための基本的な事柄について知ることができる。	◎	○					○
発育・発達・加齢論	学部 共通 科目	2~4	発育・発達の性差と個人差、運動との関係、現代のこどもの諸問題、加齢に伴う生体構造、機能の変化についての知識を深めることができる。	○	△	○				
コミュニティ平和論	学部 共通 科目	2~4	安全に生活するための生存基盤(サブシステム)が重視され、戦争だけでなく暴力のない社会が実現する可能性について、身近な具体例を通じて考えることができる。	◎	◎		△			○
家族心理学の基礎	学部 共通 科目	2~4	家族システムや家族への援助に関する具体的な基礎知識を学ぶことができる。		○	○	○	◎		
ファシリテーション論	学部 共通 科目	2~4	コミュニティやグループの合意形成と協働を促すファシリテーションの技術を習得し、自身で実際にファシリテーションを企画・実施できるようになる。	○	△	△			◎	△
ライフサイクルの心理学	学部 共通 科目	2~4	人間のライフサイクルを通じた発達プロセスについて理解し、人間理解を深めると共に対人支援の方法について考えることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
地域コミュニティと生協	学部 共通 科目	2~4	生協の事業や活動の実践を学ぶことを通して、地域における協同と連帯の力によって問題解決にあたることの意義や可能性を考えることができる。	◎	○	◎	△			○
セクソロジー	学部 共通 科目	3~4	人間の性について、身体的発達、心理的発達、社会関係の発達の側面から学び、現代社会における性の問題をさまざまな角度から考察することができる。	◎	◎	○	○			
グリーフスタディ	学部 共通 科目	3~4	様々な局面から生じるグリーフ(悲嘆)とグリーフワーク、その支援についての理解を深めることができる。	◎	○	○				
アジアの宗教と文化	学部 共通 科目	3~4	東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジアさらに中東などのアジアの宗教と文化の基礎的な知識を身につけることができる。	○	○					◎
社会福祉発達史1	学部 共通 科目	3~4	ヨーロッパやアメリカにおける社会福祉の発達史を学ぶことによって、社会福祉とは何かということを理論的に学習し、視点や枠組みを獲得することができる。	○			◎			
社会福祉発達史2	学部 共通 科目	3~4	日本が抱える社会福祉の課題を、社会福祉のあゆみから実証的に指摘することができる。	○			◎			
リスクマネジメント論	学部 共通 科目	3~4	これまでにみられる数々のリスクマネジメントの現状を把握すると同時に、実際に起きたスポーツ事故を取り上げ、事故予防の観点から、事故の詳細について様々な角度からの把握に努める。また、安全対策および心肺蘇生法をはじめとした対処方法を考えると共に、安全なスポーツ環境の構築に向けた課題解決へのアプローチ方法を考察することができる。		◎	○	○			
公共哲学	学部 共通 科目	3~4	公共哲学の「入門」から「応用編」まで学び、他者との共存の作法を模索する公共哲学の原理と歴史について理解を深めることができる。	◎	◎		△			○
少子高齢社会論	専門 基礎 科目	1~4	わが国における少子高齢化による人口構造の変化が全体社会に与える影響について学び、家族と地域社会における問題と社会的対応について考察することができる。	○	◎	△	○	△	○	◎
家族政策	専門 基礎 科目	1~4	家族で過ごす生活という一見個人的に見える多様な日常が、いかに社会の制度と深いつながりがあるのかを理解することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
国際NGO論	専門 基礎 科目	1~4	グローバル社会における貧困問題を解決するために、草の根レベルでの活動を展開している国際NGOの理念と活動実態、また、国際NGOの役割について理解を深めることができる。	◎		◎	○	△	○	◎

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題の追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
現代コミュニティ論	専門基礎科目	1~4	都市におけるさまざまな現象への関心を持ち、諸事例を通して、コミュニティに関わる現代的な課題を理解することができる。	◎		△	△	△	○	◎
市民参加論	専門基礎科目	1~4	学生は市民参加の新しい局面であるNPOの多様な広がりについて触れ、その社会的機能やマネジメントのあり方について基本的な理解を得ることができる。	○	◎			△	○	○
地方自治論	専門基礎科目	1~4	この授業では、日本の地方行政の基本的な仕組みを理解し、今日の自治体の現状と課題に触れながら、これからの自治体はどうあるべきかを考察することができる。	○	◎				△	△
リサーチ方法論1	専門基礎科目	1~4	社会調査(量的調査と質的調査)によってデータを収集し、分析できる形まで整理する方法に関する基本的知識の習得を目指すことができる。	○	◎	△	○	◎	△	○
政策学の基礎知識	専門基礎科目	1~4	コミュニティ政策学の基礎となるべき経済学、政治学、法学、社会学等社会科学の知見を学び、それらを通じて現在社会の置かれた状況の諸相を学ぶことができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
社会政策	専門基礎科目	1~4	ヒューマン・ニーズへの対応としての社会政策の理念、概念、歴史、方法について理解し、他者に説明できる。	◎	◎				◎	○
経営組織論	専門基礎科目	1~4	NPOや社会的企業を含む社会組織の経営のあり方に関して、基礎からわかりやすく包括的に学習することができる。	○	◎		△	△	○	○
文化政策	専門基礎科目	1~4	文化やアートを介して人と人をつなぐことによってコミュニティを活性化する技法を身につけることができる。	◎	◎	◎	○		○	
地方財政論	専門基礎科目	1~4	財政学、地方財政論の標準的な知識を身につけると共に、財政を通じて社会を捉える視点が存在することを認識することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
リサーチ方法論2	専門基礎科目	2~4	統計データを分析・解釈するために必要な、統計学の基礎知識を習得するとともに、実際のデータを用いて基本的な分析法を体験的に学習し身につけることができる。	○	◎	△	○	◎	○	○
政策科学	専門基礎科目	2~4	政策形成の制度的な仕組みを理解するとともに、政策を分析するための理論的枠組み・手法についての知識を習得することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
福祉制度論	専門基礎科目	2~4	社会政策を実現する手段としての福祉制度の目的、構成、手段、課題について他者に説明できる。	○	◎				◎	◎
健康政策	専門基礎科目	2~4	授業を通じて、1) 医療保険/介護保険制度の概要 2) 医療/介護サービス提供体制 3) サービス受給者 の実態などを理解することができる。	○	◎	△	○	△	○	◎
スポーツ政策	専門基礎科目	2~4	スポーツに対する政策の社会科学的なとらえ方、およびその歴史的展開と現代社会におけるスポーツ政策の特徴や課題について理解する。	○	◎	△	○	△	○	◎
国際経済論	専門基礎科目	2~4	国際経済の歴史と理論を学び、金融危機、資源エネルギー問題や国際経済の制度的枠組み(国際通貨制度やWTO等)についての理解を深めることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
逸脱と紛争の修復	専門基礎科目	2~4	コミュニティに生ずる逸脱行為と紛争を、コミュニティの福利の実現を目的として、コミュニティで解決する制度、理念、実践について、国内外の先行経験を参考にしつつ学んでいく。	○	◎	△	○	○	○	◎
エスニシティ論	専門基礎科目	2~4	エスニシティをめぐる問題について文化やコミュニケーションの側面を中心に取り上げ、理解を深めることができる。	○		△	○	△	△	◎
余暇生活論	専門基礎科目	2~4	「余暇権」の尊重された社会を確立するために、仕事と遊びの関係を見直し、個人と社会の両面から、来るべき「余暇社会」のデザインを描くことができる。	○	◎	○	○	△	◎	◎
まちづくり論	専門基礎科目	2~4	高齢者・障害者が住みやすいまちとは何かを視点を、高齢者向け住宅や医療や福祉施設等を中心としたまちづくりを考え、建築的考察を加えながら理解することができる。	○	◎	△	○	○	○	◎
コミュニティ・ビジネス	専門基礎科目	2~4	コミュニティビジネスの議論が盛んになってきている背景や実態を学習し、このような取組の現代的、歴史的な意義を理解することができる。	○	◎	○	△		○	◎
質的リサーチ	専門基礎科目	2~4	質的調査法の意義・背景・認識論的枠組み・調査法・分析法についての概要を理解することを目指すことができる。		◎	○	◎	◎	○	○
持続可能な福祉コミュニティ	専門基礎科目	2~4	福祉の充実と環境負荷軽減の両立の必要性と困難を理解し、この両立を目指す一つの方法として様々なコミュニティレベルでの実践の現状、課題、可能性について学ぶことができる。	◎	△	△	○	△	◎	○
ソーシャルサポート論	専門基礎科目	2~4	学校領域、司法領域、児童福祉領域、高齢者福祉領域におけるソーシャルサポートの理論と実践について理解することができる。	◎	◎		○	◎	◎	◎
リーダーシップ論	専門基礎科目	2~4	コミュニティ活動や組織活動におけるリーダーシップに関する基本的な知識と技術を学ぶことができる。		○	○	◎	○		
社会問題の社会学	専門基礎科目	2~4	「社会問題」についての社会学的な捉え方を学び、それに基づいて社会福祉やコミュニティとの関わりを持つ、現代の社会問題の特質について理解することができる。	◎	◎		○	◎	◎	◎
福祉心理学入門	専門基礎科目	2~4	福祉や対人援助における基本的な理念・知識を学ぶとともに、面接技法、アセスメントの基礎について習得することができる。	◎	◎				○	◎
地域経済論	専門基礎科目	2~4	地域経済論の基礎的な理論および、戦後日本の地域経済の具体的な展開を学び、地域経済の現状と課題をコミュニティの視点から理解することができる。	○	◎		○			◎
行政学	専門基礎科目	2~4	行政の理論と実際を学ぶことができ、教養人としてふさわしい行政の知識のみならず公務員試験にも対応できる知識も身につけることができる。	◎	◎	△	◎	○	◎	○
国際福祉論	専門基礎科目	2~4	国際的な視野から、人間のウェルビーイング実現について学ぶことができる。貧困や紛争の発生要因について思考し、私たちの生活とのつながりについて学ぶことができる。	○	◎	○	○	△	△	◎
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(コミュニティ政策系)	専門基礎科目	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。コミュニティ政策の分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を学ぶ。		◎	△	△			◎

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的的習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状における課題を実証的な社会調査に基づき分析する能力	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策に関する実践能力	7) コミュニティの形成学・政策学・人間学領域を踏まえ、専門的課題の追求する力、また国際的視野から社会問題を分析する力
英語で学ぶコミュニティ政策	専門 基幹 科目	2~4	コミュニティ政策に関するトピックスを英語で学ぶ。本科目は英語を勉強する科目ではなく、英語を言語としてコミュニティ政策を学び、自分の意見を伝えることができる。	◎			◎			◎
障害者スポーツ実践論	専門 展開 科目	3~4	障害のある人が、親しんでいるスポーツの支援法について学ぶとともに、障害の有無を問わずに、スポーツを親しむための方法についても学ぶ。また、それらにより、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。	○	◎	◎	◎			◎
データ分析法	専門 展開 科目	3~4	統計データのより詳しい分析に必要な多変量解析について、基本的な考え方や計量モデルを学び、実際のデータを用いて多様な分析法を習得することができる。	○	◎	△	◎	◎	◎	◎
インターンシップ	専門 展開 科目	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	◎
コミュニティスタディ	専門 展開 科目	3~4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、高度な専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	◎	◎	○	◎	○	○	◎
社会調査実習	専門 展開 科目	3~4	量的調査・質的調査の意義・知識を学び、その企画・実施・分析の方法を体験的に身につけることができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
コミュニティ人間形成論	専門 展開 科目	3~4	誕生した生命が家庭や地域社会で保護と教育を受けながら社会的存在へと成長していく営みについて、我が国の現状と課題、可能性を考察することができる。	◎	◎	△	○	△	△	◎
政策過程論	専門 展開 科目	3~4	様々な公共的課題がどのように公共政策として取り上げられ、設計され、決定されて実施されるのかについて理論的な視座と具体事例から考察することができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
社会開発論	専門 展開 科目	3~4	貧困の発生要因を理解することができる。経済成長重視の開発を見直す中で台頭してきた「社会開発」の重要性について理解を深めることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
住宅政策	専門 展開 科目	3~4	日本の戦後の住宅政策の潮流や特徴について理解を深め、少子高齢化、地方分権化、ストック重視や市場重視社会の居住問題と住宅政策の関係を考えることができる。	○	◎	△	○	△	○	◎
教育政策	専門 展開 科目	3~4	近年の教育政策の動向とその背景について理解を深め、実際の教育政策提言を批判的に検討できる。	○	◎	△	○	△	○	◎
福祉社会論	専門 展開 科目	3~4	「福祉社会」の社会学という視点から福祉ボランティアが果たす役割などの検討を通して福祉社会の今日的課題について理解することができる。	◎		△	△	△	○	◎
自治体政策論	専門 展開 科目	3~4	地方自治体による政策の立案・実施について、その制度的な枠組みと運営手法について理解することができる。	○	◎	△	○	○	○	◎
災害心理学	専門 展開 科目	3~4	災害発生時および発生後のヒトの心理・行動に関する研究を概観して知識を深めるとともに、災害への対応方法について理解することができる。	○	○	△	○	△	△	◎
多文化社会論	専門 展開 科目	3~4	多言語・多文化化する社会の現状について理解し、異なる他者を排除するのではなく、生活者という位置づけのもとでの包摂的な社会構築に向けた課題を探ることができる。	◎	◎	△	○	○	◎	◎
家族援助論	専門 展開 科目	3~4	司法領域、児童福祉領域における家族の問題について、アセスメント、相談援助の方法、法律的背景についての知識や、ケースの見立て、介入方針についての基礎を習得する。	◎	◎	○			◎	○
雇用と福祉	専門 展開 科目	3~4	非正規雇用やワーキングプアなど、現代日本が抱えている雇用に関する諸問題をその背景とともに理解し、同分野の現代的な動向を自ら考察する力を身につけることができる。	○	◎				○	○
パートナーシップ論	専門 展開 科目	3~4	さまざまな社会問題・地域課題に対応したパートナーシップの現状・課題と可能性について理解を深めることができる。	◎	○	○			○	◎
ボランティア論	専門 展開 科目	3~4	学生は、阪神淡路大震災時のボランティア活動の事例を通してボランティアの可能性と課題について理解することができる。	○	◎	○	○	△	○	○
NPO論	専門 展開 科目	3~4	学生は、NPOが現代社会において果たしている機能や抱えている課題に関して、包括的に理解することができる。	○	◎	△	○	△	○	○
障害者スポーツ論	専門 展開 科目	3~4	わが国の障害のある人々(身体障害者・知的障害者)のスポーツを中心にその現状と動向について論じ、これからの障害者スポーツを多面的に展望することができる。	○	◎	△	○		△	◎
卒業研究指導演習	専門 展開 科目	4	卒業研究の執筆・制作に関して、教員から指導・援助を受け作品を完成に向けて取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
卒業研究	専門 展開 科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
社会学1	専門 関連 科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
社会学2	専門 関連 科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
心理学1	専門 関連 科目	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○			◎			◎
心理学2	専門 関連 科目	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。			○	◎			◎
法学1	専門 関連 科目	1~4	国の最高法規である憲法について理解する。福祉士国家試験や公務員試験を中心に、日常生活にも対応できる内容を目指すことができる。	○	○		○	△		◎

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部 理念、目的 的習得	2)知識・ 技術の 習得	3)現場 に立った 実地学 習の習 熟	4)実践 能力と 研究能 力の統 合	5)現状 における 課題を 実証的 な社会 調査に 基づき 分析す る能力	6)意図 的・計 画的に 現状に 変化を もたら す手 段や方 策に関 する実 践能力	7)コミュ ニティ の形成 学・政 策学・ 人間学 領域を 踏まえ 、専門 的課題 の追求 する力 、また 国際的 視野か ら社会 問題を 分析す る力
法学2	専門 関連 科目	1~4	民法を中心に権利擁護制度について理解する。成年後見制度や消費者保護、虐待防止関係の法制度を概観し、福祉士国家試験や日常生活に対応することができる。	○	○		○	○		◎
政治学	専門 関連 科目	1~4	映画を題材にしなが、政治学が扱ってきたテーマを学ぶとともに、政治学の考え方や基本概念を理解し、直面している問題について政治学の視点から考えることができる。	○			○	△		
経済学	専門 関連 科目	1~4	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につけることができる。	○			◎	△		
地理学1	専門 関連 科目	1~4	人文地理学および地誌学を学ぶための基本的な知識を習得することができる。		◎			△		
地理学2	専門 関連 科目	1~4	人文地理学および地誌学を学ぶための基本的な知識を習得することができる。		◎			△		
日本史1	専門 関連 科目	1~4	19世紀後半~20世紀初頭における日本近代史を近代国家建設の過程や国際関係を中心に概観しながら、戦前の国家体制への理解を深めていくことができる。		◎			△		
日本史2	専門 関連 科目	1~4	1930年代以降の日本近現代史につき、政治外交史を中心に概観し、なぜ、日本が戦争の道を突き進んでいったのかを理解することができる。		◎			△		
外国史1	専門 関連 科目	1~4	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解し身につけることができる。		◎			△		
外国史2	専門 関連 科目	1~4	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解し身につけることができる。		◎			△		
地誌学	専門 関連 科目	1~4	授業では、日本地誌を通して、国土構造のあり方に関心を払いながら、現実 に起きている多様な現象への認識を深め、考えることができる。		◎			△		
生涯学習概論1	専門 関連 科目	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目 することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△		
生涯学習概論2	専門 関連 科目	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を 具体的に理解していくことができる。		◎	△		△		
社会教育施設論1	専門 関連 科目	1~4	生涯学習との関連で、人びとの学習活動を支援する社会教育施設の役割に ついて検討することができる。		◎			△		
社会教育施設論2	専門 関連 科目	1~4	生涯学習との関連で、人びとの学習活動を支援する社会教育施設の役割に ついて検討することができる。		◎			△		
社会教育計画1	専門 関連 科目	1~4	社会教育計画、生涯学習振興計画の原理と理論と、タイプ別の企画・立案の 手順の概略を理解することができる。		◎	○		△		
社会教育計画2	専門 関連 科目	1~4	生涯学習・社会教育における事業計画の具体的な企画・立案の手順と手法 について理解を深めることができる。		◎	○		△		

カリキュラム・マップ

コミュニティ福祉学部 教育目的	
「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。	

学修成果	
<p>&lt;学部全体&gt;</p> <p>◆学部理念・目的の習得</p> <p>1. 「いのちの尊厳のために」(Vitae Dignitati)という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。</p> <p>◆知識・技術の習得</p> <p>1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。</p> <p>2. 導入教育として実施されている基礎演習をとおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。</p> <p>3. キャリア教育やインターンシップにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。</p> <p>4. 完成期に配置されている演習科目等をとおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。</p> <p>5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。</p>	<p>◆現場に立った実地学習の習熟</p> <p>フィールド型学習(福祉学科:福祉ワークショップ、コミュニティ政策学科:フィールドスタディ、スポーツウエルネス学科:スポーツウエルネスワークショップ、そして各学科で履修できるインターンシップ)を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。</p> <p>◆実践能力と研究能力の統合</p> <p>人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴いて生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。</p> <p>&lt;福祉学科&gt;</p> <p>1) 専門的対人援助職であるソーシャルワーカーに必要な「理論・制度・サービスの理解」、「援助の方法・技術の理解」及び両者を統合する場としての「演習・実習による理解」に対応した知識・技術を総合的に習得する。</p> <p>2) 福祉実習関連科目などの学びを踏まえて、現場実習というフィールドワーク、臨床の現場での実践に結び付けることができる実践能力を習得する。</p> <p>3) 国家試験指定科目および「社会福祉援助技術現場実習」「実習指導」などを履修し、学修成果として、「社会福祉士」および「精神保健福祉士」の国家試験の受験資格を取得することができる。</p>

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7)社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を得ることができる
現代社会と福祉1	専門必修科目	1	現代社会における福祉問題を発見し、解決にむけての援助技術、福祉制度・政策を考えることができる。また、福祉施設・機関での福祉実践の実態を理解することができる。		◎	◎				◎
基礎演習	専門必修科目	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	◎	◎					
社会福祉入門演習	専門必修科目	1	社会福祉の様々な分野について基本的な理解を進め、2年次、3年次に展開する領域別学習・実習について予備知識を得る。さらに、自身のキャリアについて考えることができる。	◎	◎			◎		
福祉ワークショップ	専門必修科目	2	現場で展開している様々な実践活動に参加し、その経験から自らの視点を形成する。現場で起こる諸課題を理解し、これを知識として組織化することができる。対人理解・援助を深め現場実習の前のソーシャルワークの基礎の素養を学び、実習に向けて準備を行うことができる。	◎	○	◎	◎	△	△	◎
社会調査法	学部共通科目	1~4	社会調査の意義・背景・方法に関わる基本的知識の習得ができる。	○	◎	△	○			○
情報処理1	学部共通科目	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的パソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
情報処理2	学部共通科目	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方、効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
ウエルネス福祉演習	学部共通科目	1~4	ストレスに満ち溢れた現代社会において、“癒し”の体験は、ウエルネス向上を考えるうえでとても重要な要素となる。ここでは自然豊かな森の環境で実際に“癒し”を体験し、癒しを導くノウハウを学習することができる。	◎	◎	△	◎			◎
情報処理3	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
情報処理4	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
グローバル社会で活躍するための英語1 ー海外の団体や外資系企業から学ぶー	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、国際団体など)		◎					
グローバル社会で活躍するための英語2 ー海外の団体や外資系企業から学ぶー	学部共通科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、日本企業の商社、外資系企業など)		◎					
ノーマライゼーション論	学部共通科目	1~4	ノーマライゼーション原理誕生と発展プロセスを取り上げ、この原理を具現化するためにはどうしたらよいかを検討することができる。	◎						
キャリア形成論1(福祉系)	学部共通科目	1~4	児童、障害、高齢、地域、精神、医療のソーシャルワーカーの領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な議論を行う。		○	◎				△
キャリア形成論2(コミュニティ政策系・スポーツウエルネス系)	学部共通科目	1~4	コミュニティ政策・スポーツウエルネスの諸領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な議論を行う。		○	◎				△
異文化スタディ	学部共通科目	1~4	海外の研修地において社会問題に取り組む諸団体を訪問し、その支援方法を理解するとともに、英語研修、ホームステイにより、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	○	◎	◎	○			
ウエルネス福祉論	学部共通科目	1~4	ウエルネスとは何かを理解し、生きがい感を持った全人的QOLの構築には何が必要かというテーマについて議論することができる。	◎	△	△	△			
現代キリスト教人間学	学部共通科目	1~4	現代社会において様々な理由によって自己を喪失して行く個とパートナーシップを欠如して行く個に対してキリスト教はどう応えているのかを考察することができる。	○		◎				

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7)社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を取ることができる
コミュニティ福祉とキリスト教	学部 共通科目	1~4	ユダヤ教とキリスト教の伝統を事例にとりあげ、人間観とコミュニティ理念の形成に宗教が果たした役割を考察することができる。	◎	○	○	△		△	◎
人権論	学部 共通科目	1~4	私達の身近に存在していても気付かない関係ない難しいものと考えてしまう人権について弁護士の活動を通じた具体的な事例で認識し理解し考えることができる。	◎			○			
福祉文化論	学部 共通科目	1~4	福祉文化とは何かを探究する。福祉文化の負の遺産に思いを馳せながらワクワクするような福祉文化実践に触れ、感じた事を表現し合う場を創出することができる。	◎						
生涯スポーツ論	学部 共通科目	1~4	従来の「スポーツ振興」の概念とは異なるスポーツプロモーションの視点から生涯スポーツ論の性格、内容、展開の現状や特徴について理解することができる。		◎	△				
社会保障総論	学部 共通科目	1~4	社会保障の概念やわが国の社会保障制度の概要を理解し、医療保険及び介護保険を通じて、社会保険に関する基礎知識を身につけることができる。	○			◎			○
いのちの倫理学	学部 共通科目	2~4	学生は、現代社会における「生活」、「生命」、「いのち」をめぐる諸問題について資料に基づきながら現状に対する理解を深め、自分の意見を形成することができる。	◎	◎	△	△	◎		○
高齢社会システム論	学部 共通科目	2~4	高齢社会を歴史的変革期として理解し、老いをめぐる問題を現代人全世代の生き方が問われる問題として考え、これからの社会への展望につなげる術を模索することができる。	◎		△				
ジェンダー論	学部 共通科目	2~4	ジェンダー概念を基礎にして、「みようとしなければみえないものをみる力」を各自が醸成すること、自分の可能性を広げることができる。	○	○		◎			
障害学入門	学部 共通科目	2~4	障害という様々な身体的特質を持つ人々と、彼らに関わる人たちの話を聞き、その出会いを通じて想像力と可能性を広げ養うことができる。	◎		△	○			
家族社会学	学部 共通科目	2~4	家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学ぶことをとおして、誰もがもっている家族についての「常識」を相対化することができる。	○			◎			
人間心理の深層	学部 共通科目	2~4	時として真善美に反したことを考え行動してしまう人間存在とは一体何なのか、それ以前に真善美は人間から超越して存在しうるのかといった事柄について考察する力を身につけることができる。	○		△	○			○
日本の文化と思想	学部 共通科目	2~4	文化政策を個々の地域で展開していく際、その地域の伝統的な文化や生活観・労働観を如何なる形で取り込んでいったらよいかを考察するための基本的な事柄について知ることができる。	◎	○					○
発育・発達・加齢論	学部 共通科目	2~4	発育・発達の性差と個人差、運動との関係、現代のこどもの諸問題、加齢に伴う生体構造、機能の変化についての知識を深めることができる。	○	△	○				
コミュニティ平和論	学部 共通科目	2~4	人間の生命とその生存基盤(サブシステム)を重視し、戦争だけでなく暴力のない持続可能な社会をめざす平和学を、各地の現実や現場の実践から理解することができる。	◎	◎	△	○		△	◎
家族心理学の基礎	学部 共通科目	2~4	家族システムや家族への援助に関する具体的な基礎知識を学ぶことができる。		○	○	○	◎		
ファシリテーション論	学部 共通科目	2~4	コミュニティやグループの合意形成と協働を促すファシリテーションの技術を習得し、自身で実際にファシリテーションを企画・実施できるようになる。	○	△	△			◎	△
ライフサイクルの心理学	学部 共通科目	2~4	人間のライフサイクルを通じた発達プロセスについて理解し、人間理解を深めると共に対人支援の方法について考えることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
地域コミュニティと生協	学部 共通科目	2~4	生協の事業や活動の実践を学ぶことを通じて、地域における協同と連帯の力によって問題解決にあたることの意義や可能性を考えることができる。	◎	○	◎	△			
セクソロジー	学部 共通科目	3~4	人間の性について、身体的発達、心理的発達、社会関係の発達の側面から学び、現代社会における性の問題をさまざまな角度から考察することができる。	◎	◎	○	○			
グリーフスタディ	学部 共通科目	3~4	様々な局面から生じるグリーフ(悲嘆)とグリーフワーク、その支援についての理解を深めることができる。	◎	○	◎				
アジアの宗教と文化	学部 共通科目	3~4	東アジア、南アジアさらに中東などのアジアの宗教と文化の基礎的な知識を身につけることができる。	○	○					○
社会福祉発達史1	学部 共通科目	3~4	ヨーロッパやアメリカにおける社会福祉の発達史を学ぶことによって、社会福祉とは何かということを理論的に学習し、視点や枠組みを獲得することができる。	○			◎			
社会福祉発達史2	学部 共通科目	3~4	日本が抱える社会福祉の課題を、社会福祉のあゆみから実証的に指摘することができる。	○			◎			
リスクマネジメント論	学部 共通科目	3~4	これまでにみられる数々のリスクマネジメントの現状を把握すると同時に、実際に起きたスポーツ事故を取り上げ、事故予防の観点から、事故の詳細について様々な角度からの把握に努める。また、安全対策および心肺蘇生法をはじめとした対処方法を考えると共に、安全なスポーツ環境の構築に向けた課題解決へのアプローチ方法を考察することができる。		◎	○	○			
公共哲学	学部 共通科目	3~4	公共哲学の「入門」から「応用編」まで学び、他者との共存の作法を模索する公共哲学の原理と歴史について理解を深めることができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
家族福祉論	専門 基礎科目	1~4	多様化する現代家族の態様と福祉ニーズを把握し、家族をめぐる政策動向を分析したうえで、家族福祉の必要性と展望について理解できる。			◎	○	◎	○	
福祉機器論	専門 基礎科目	1~4	高齢者や障害者の生活を助ける重要な要素である福祉機器について、実用化・普及しているものから、先端技術の応用まで、広く理解することができる。	◎	○					○
社会福祉援助技術論1	専門 基礎科目	1~4	ソーシャルワーク実践とは何かを理解し、「人が人を援助すること」や「生活を想像すること」などについて考える力を養成することができる。	◎	◎	◎	○	◎		◎
精神保健福祉援助技術総論	専門 基礎科目	1~4	精神医療の特性や精神障害者に対する支援の基本的考え方を理解することができる。	◎	◎	◎	○	◎		◎

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7)社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等取得できる
介護概論	専門基礎科目	1~4	介護を必要とする人々や、介護者が直面する介護課題を理解し、その支援方法や実践課題を考察することができる。	○	○	◎	◎	○		○
医学概論	専門基礎科目	1~4	医学とはどのような学問なのか、どのような疾病があるのかを理解する。現代社会と医学との関りを自ら考える。自らの健康について考えることができる。	◎	○			◎	△	◎
発達障害論	専門基礎科目	1~4	発達障害についての基本的知識を身につけ、支援の実際を学ぶ。さらに支援のはざまにある課題について自分なりに考察できるようになる。	◎	◎		△	◎	○	○
ソーシャルワーク論1	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワークの目的・機能・対象・方法などを理解し、ソーシャルワークの全体像を把握できる。	○	◎	◎	◎	◎		◎
ソーシャルワーク論2	専門基礎科目	1~4	ソーシャルワークの主要な理論を理解し、実践への適用について理解できる。		◎	◎	◎	◎		◎
心理学理論と心理的支援	専門基礎科目	1~4	成長と発達についての心理学理論を理解し、カウンセリングの手法について理解できる。		◎	◎	◎			○
社会理論と社会システム	専門基礎科目	1~4	現代社会の法・経済と社会システムについての理解、生活の理解、人と社会の関係、そして社会問題の捉え方などについて理解し、考察できる。		◎			◎		◎
社会福祉法制	専門基礎科目	1~4	社会福祉を実施していくための法ならびに行政制度の仕組みについて理解することができる。	◎	◎			◎		○
社会福祉援助技術演習1	専門基幹科目	2~4	(1)社会福祉の専門援助技術について、その方法、技術に焦点を当て、ロールプレイング、事例検討など演習形式により学習を進める。面接技術、記録、評価技法等の実践の技術と守秘義務、人権と権利擁護、職業倫理等の価値についても理解する。 (2)社会福祉援助技術を実践的に理解する。 (3)具体的な課題別の事例を活用し、相談援助に必要な専門援助の実技、面接技術、記録方法、評価・効果測定技術などについて身につけることができる。	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
社会福祉援助技術演習2	専門基幹科目	2~4	実習を行うために必要な知識・技術、実習ノートの書き方などを学習する。また、学生が自分と向き合い、実習の計画や目標を明確化することができる。	◎	◎	◎	○	◎	○	◎
精神保健福祉援助演習(基礎)	専門基幹科目	2~4	精神保健福祉援助実習の基本(実習目的、ノートの書き方、実習の進め方、援助・面接場面におけるコミュニケーションなど)について理解することができる。			◎				◎
児童福祉論	専門基幹科目	2~4	児童福祉の法・制度、理論、実践、諸条件などを子どもや家族の現実などの具体例を紹介するなかで学び、わが国の当面する児童福祉の課題を理解することができる。	◎	◎	○	○	◎	○	◎
児童福祉実践論	専門基幹科目	2~4	児童福祉分野、とくに施設における実践のあり方、実践の基本を理解することができる。	◎	◎	◎	◎		◎	
公的扶助論	専門基幹科目	2~4	公的扶助の最近の動向及び現実的課題などを紹介し、最低生活保障における経済給付と自立に向けた社会福祉援助・支援活動を理解することができる。	◎	◎			◎	○	◎
高齢者福祉論	専門基幹科目	2~4	我が国が直面する超高齢社会のあり様を知り、社会問題、家庭問題としての高齢者問題について正確に把握し、誰にでも訪れる老いを理解出来る。	◎	◎	△	○	◎	○	◎
高齢者福祉実践論	専門基幹科目	2~4	実際に高齢者福祉の現場で取り入れられているケアの手法や理論を具体的に学び、現場での福祉実践のあり方を理解することができる。	◎	△	◎	○	◎	◎	
障害者福祉論	専門基幹科目	2~4	知的障害者および身体障害者に対する支援と障害者自立支援制度の枠組みを学び、支援のあり方と制度との関係、実態と課題を理解することができる。	◎	◎		○	◎	◎	◎
地域福祉論1	専門基幹科目	2~4	地域福祉について、多角的・構造的に理解することができる。	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
地域福祉論2	専門基幹科目	2~4	地域福祉について、多角的・構造的に理解することができる。	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
女性福祉論	専門基幹科目	2~4	性差別を基底とした女性問題の現状を理解し、その解決に向けた社会福祉の役割を女性福祉の視点から解明する。又、支援者に必要なスキルを修得することができる。	○	○		○	◎	○	△
介護技術論	専門基幹科目	2~4	介護現場の実践で活用されている介護技術の基本を学び、質の高いケアに関する知識と基本技術を学ぶことができる。	○	○	◎	◎			
精神医学1	専門基幹科目	2~4	ヒトの「身体」、「心理」、「社会」的な各側面をバランスよく理解・判断していくための精神医学的基礎知識を修得することができる。	○	○			△	△	◎
精神医学2	専門基幹科目	2~4	他者について、あるいは自分について、その精神や行動をみていく時、様々な情報に振り回されず本質を見分けていくための考え方を養うことができる。	○	○			△	△	◎
精神保健福祉論1	専門基幹科目	2~4	精神障害者のあり様と精神障害者をとりまく施策や支援を理解し、精神保健福祉の理念と意義を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
精神保健福祉論2	専門基幹科目	2~4	精神障害者に対する医療・保健・福祉についての基礎的な仕組みを学び、精神障害者を支援する上での基礎となる理念・価値観・制度を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
福祉環境論	専門基幹科目	2~4	高齢社会における社会システム再構築と福祉に関する制度・政策を考慮しながら、住宅・福祉施設等について建築的視点を含めて住環境を理解することができる。	◎	○			◎		○
医療福祉論	専門基幹科目	2~4	社会に存在したあるいは現在存在する、医療に関する諸問題に関心を持つ。さらにその解決方法を多角的に思考できるようになる。日常的に社会問題に関心を持ち、自ら情報を収集することができる。	○	◎		○	◎		◎
精神保健福祉援助技術各論1	専門基幹科目	2~4	精神障害領域におけるソーシャルワークの理論と実際を学び、基盤となる視点、価値観を理解することができる。	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
家族臨床心理学	専門基幹科目	2~4	近年社会の変動とともに、変化を余儀なくされている家族のかたちや機能について理解を深め、対人援助の現場で役立つ実践的な知識を得ることができる。	○	○			△	△	○



コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7)社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を得ることができる
福祉行財政と福祉計画	専門 基幹 科目	2~4	福祉の行財政の実施体制と現状を理解する。また種々の福祉計画の意義や目的、方法などを理解することができる。	○	○	○	○	○		◎
就労支援サービス	専門 基幹 科目	2~4	・相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度について理解することができる。 ・就労支援に係る組織、団体及び専門職について理解することができる。		○	◎	○	○	○	◎
障害幼児ソーシャルワーク論	専門 基幹 科目	2~4	環境設定や関わりの仕方に工夫を凝らし、子どもたちが楽しい集団生活が送れるようにするための支援の方法を考えることができる。	◎			○	◎	◎	
社会福祉援助技術論2	専門 基幹 科目	2~4	個別支援及び面接技法等を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎		◎
社会福祉援助技術論3	専門 基幹 科目	2~4	グループワーク・集団支援を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎		◎
社会福祉援助技術論4	専門 基幹 科目	2~4	地域におけるネットワーキング、社会資源活用等を中心とした相談援助技術の意義や方法が理解できる。	○	◎	◎	△	◎	○	◎
社会保障論	専門 基幹 科目	2~4	わが国社会保障制度の体系を学び、年金問題を中心に、社会保障の機能や課題を理解し、今後の強靱な社会保障のあり方を考える力を身につけることができる。	○			◎			◎
精神保健福祉援助技術各論2	専門 基幹 科目	2~4	精神保健福祉領域におけるソーシャルワークの理論と実際を学び、基盤となる知識・技術、価値について修得し、理解することができる。	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎
精神科リハビリテーション学1	専門 基幹 科目	2~4	現代社会で増加傾向にある人間関係障害との関係性を考察しながら、精神科リハビリテーションに携わる援助者が持つべき基本姿勢について理解することができる。	◎	◎	○	△	○	○	◎
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(福祉系)	専門 基幹 科目	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。福祉の分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を学ぶ。		○					
英語で学ぶ海外福祉の現状	専門 基幹 科目	2~4	福祉に関するトピックスを英語で学ぶ。本科目は英語を勉強する科目ではなく、英語を言語として福祉を学び、自分の意見を伝えることができる。		○					
インターンシップ	専門 展開 科目	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	○
実習指導	専門 展開 科目	3~4	社会福祉援助技術現場実習の意義について理解するとともに、相談援助に関わる知識と技能について具体的実践的に理解し、総合的に対応できる能力を習得することができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
社会福祉援助技術現場実習	専門 展開 科目	3~4	社会福祉援助技術現場実習は社会福祉士国家資格受験資格を取得するための24日間(180時間)の配属実習を行う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神保健福祉援助実習	専門 展開 科目	3~4	実際の現場と、ソーシャルワーカーの業務を実際に見て、疑似体験することで座学での知識を具体的な理解へとすすめ、自分のキャリアプランとすることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神保健福祉援助実習指導1	専門 展開 科目	3~4	精神保健福祉援助実習に必要な知識と技術の基礎を身につけ、ソーシャルワーカーの業務を専門的見地から観察することができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神保健福祉援助実習指導2	専門 展開 科目	3~4	精神保健福祉援助実習に必要な知識と技術の基礎を身につけ、ソーシャルワーカーの業務を専門的見地から理解することができる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
社会福祉援助技術演習3	専門 展開 科目	3~4	社会福祉援助技術現場実習において学んだこと、疑問、今後大切にしたい学習テーマを明らかにすることができる。	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
相談援助演習	専門 展開 科目	3~4	社会福祉援助技術現場実習において学ぶ領域やテーマを明確にし、実習領域についてさらに専門的知識を身につけることができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
キャリア形成演習	専門 展開 科目	3~4	社会福祉関係のキャリアのみならず、広く社会で活躍できる人材として自覚し、視野を広げ学んだことを生かしつつ、自身のキャリアについて考えることができる。		○	○				
精神保健福祉援助演習(専門)	専門 展開 科目	3~4	精神保健福祉援助実習において行われる相談援助について理解した上で、自ら援助計画を立てることができる。	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎
精神障害者の生活支援システム	専門 展開 科目	3~4	精神障害者の生活問題について理解し、その支援について具体的に計画を立てることができる。	◎	◎	○	△	○	○	◎
権利擁護と成年後見制度	専門 展開 科目	3~4	人権と社会正義を基盤としたソーシャルワーク支援を行っていくのに必要な権利擁護の考え方と成年後見制度や虐待防止法など法制度と実際を理解することができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
現代社会と福祉2	専門 展開 科目	3~4	現代社会における福祉問題を発見し、解決にむけての援助技術、福祉制度・政策を理解できる。また福祉施設・機関での福祉実践の実態を説明できる。		◎	◎	◎	◎	◎	◎
介護保険論	専門 展開 科目	3~4	介護保険制度の概要を理解するとともに、今後の高齢化の進展のなかで高齢者介護のあり方について検討することができる。		○		○	◎		◎
福祉マネジメント論	専門 展開 科目	3~4	福祉サービスを提供する組織の基本的事項及びその経営と運営管理について理解することができる。	◎	○	◎	△	○	◎	○
福祉情報論	専門 展開 科目	3~4	福祉情報とは何か、その意義と利・活用について理解することができる。	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎
福祉産業論	専門 展開 科目	3~4	社会福祉と市場原理、高齢者福祉制度・産業の歴史と現状及び今後の課題、サービス供給側に求められる姿勢と経営のあり方等について考察することができる。	○	○					○
ケアマネジメント論	専門 展開 科目	3~4	ケアマネジメントの現状を把握し、利用者の力を引き出し、各種サービス提供者をコーディネートする技法を実践的に身につけることができる。	○	○	◎	◎	◎	○	

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7)社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等を得ることができる
司法福祉論	専門展開科目	3~4	罪を犯した者の更生と社会復帰に関する相談援助活動を、更生保護制度等を通して理解することができる。	◎	◎	△	○	△	△	◎
リハビリテーション論	専門展開科目	3~4	社会福祉を学ぶ学生にとって、必要不可欠なリハビリテーション関連知識ならびに考え方、最新情報を修得することができる。	◎	○	◎		○	○	○
老年臨床心理学	専門展開科目	3~4	発達最終段階である老年期について心理的側面から理解し、高齢者に対する援助場面における理解・コミュニケーション法等について考察することができる。	◎	○			△	△	○
福祉学特論	専門展開科目	3~4	地域での障害者の自立を進める戦略であるCBR(地域に根差したリハビリテーション)から自立生活運動(IL)への変遷を考察することができる。	◎	○	◎		△	△	○
医療ソーシャルワーク実践論	専門展開科目	3~4	医療分野におけるソーシャルワークの必要性や効果を理解することができる。危機介入・システム理論などソーシャルワーク理論をどのように用いて問題解決するか、具体的な事例によって理解することができる。	○	◎	◎	○	◎		○
精神保健学1	専門展開科目	3~4	精神保健領域で、最低限必要とされる障害や疾病についての基礎知識を得る。さらに、実践的な精神保健福祉現場での関わり方を理解することができる。	◎	◎		△	○	○	◎
精神保健学2	専門展開科目	3~4	精神疾患の治療・リハビリテーション・予防とともに、心の健康をいかに保持・増進していくか、またそれに寄与する様々な活動について理解を深めることができる。	◎	◎		△	○	○	◎
精神科リハビリテーション学2	専門展開科目	3~4	精神科リハビリテーションにおける保健・福祉・教育・労働等、幅広い総合的な実践に身につけることができる。	◎	◎	△	△	○	○	◎
福祉社会論	専門展開科目	3~4	「福祉社会」の社会学という視点から福祉ボランティアが果たす役割などの検討を通して福祉社会の今日的課題について理解することができる。	◎	◎	△	△	△	○	
家族援助論	専門展開科目	3~4	司法領域、児童福祉領域における家族の問題について、アセスメント、相談援助の方法、法的背景についての知識や、ケースの見立て、介入方針についての基礎を習得する。	◎	◎	○			◎	
雇用と福祉	専門展開科目	3~4	非正規雇用やワーキングプアなど、現代日本が抱えている雇用に関する諸問題をその背景とともに理解し、同分野の現代的な動向を自ら考察する力を身につけることができる。	○	◎					○
ボランティア論	専門展開科目	3~4	学生は、阪神淡路大震災時のボランティア活動の事例を通してボランティアの可能性と課題について理解することができる。	○	◎	○		△	○	
メンタルマネジメント	専門展開科目	3~4	ストレス反応や行動変容理論などの基礎的な知識、さらにストレスを生じないあるいはストレスフルな状況に負けない考え方を理解することができる。		◎	△		◎		
卒業研究指導演習	専門展開科目	4	卒業研究の執筆・制作に関して、教員から指導・援助を受け作品を完成に向けて取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
卒業研究	専門展開科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
社会学1	専門関連科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
社会学2	専門関連科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
心理学1	専門関連科目	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○			◎			◎
心理学2	専門関連科目	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。			○	◎			◎
法学1	専門関連科目	1~4	国の最高法規である憲法について理解する。福祉士国家試験や公務員試験を中心に、日常生活にも対応できる内容を目指すことができる。	○	○		○	△		◎
法学2	専門関連科目	1~4	民法を中心に権利擁護制度について理解する。成年後見制度や消費者保護、虐待防止関係の法制度を概観し、福祉士国家試験や日常生活に対応することができる。	○	○		○	○		◎
政治学	専門関連科目	1~4	映画を題材にしながら、政治学が扱ってきたテーマを学ぶとともに、政治学の考え方や基本概念を理解し、直面している問題について政治学の視点から考えることができる。	○			○	△		
経済学	専門関連科目	1~4	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につけることができる。	○			◎	△		
地理学1	専門関連科目	1~4	人文地理学および地誌学を学ぶための基本的な知識を習得することができる。		◎			△		
地理学2	専門関連科目	1~4	人文地理学および地誌学を学ぶための基本的な知識を習得することができる。		◎			△		
日本史1	専門関連科目	1~4	19世紀後半~20世紀初頭における日本近代史を近代国家建設の過程や国際関係を中心に概観しながら、戦前の国家体制への理解を深めていくことができる。		◎			△		
日本史2	専門関連科目	1~4	1930年代以降の日本近現代史につき、政治外交史を中心に概観し、なぜ、日本が戦争の道を突き進んでいったのかを理解することができる。		◎			△		
外国史1	専門関連科目	1~4	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解し身につけることができる。		◎			△		
外国史2	専門関連科目	1~4	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解し身につけることができる。		◎			△		

コミュニティ福祉学部福祉学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部福祉学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)福祉制度、心身の健康と福祉、対人援助技術の各領域の知識・技術の総合的習得	6)福祉実習科目の学びを踏まえ、現場実習、臨床現場での実践に結び付ける能力の習得	7)社会福祉士および精神保健福祉士の国家試験受験資格等取得できる
地誌学	専門関連科目	1~4	授業では、日本地誌を通して、国土構造のあり方に関心を払いながら、現実に行き起きている多様な現象への認識を深め、考えることができる。		◎			△		
生涯学習概論1	専門関連科目	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△		
生涯学習概論2	専門関連科目	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解していくことができる。		◎	△		△		
社会教育施設論1	専門関連科目	1~4	生涯学習との関連で、人びとの学習活動を支援する社会教育施設の役割について検討することができる。		◎			△		
社会教育施設論2	専門関連科目	1~4	生涯学習との関連で、人びとの学習活動を支援する社会教育施設の役割について検討することができる。		◎			△		
社会教育計画1	専門関連科目	1~4	社会教育計画、生涯学習振興計画の原理と理論と、タイプ別の企画・立案の手順の概略を理解することができる。		◎	○		△		
社会教育計画2	専門関連科目	1~4	生涯学習・社会教育における事業計画の具体的な企画・立案の手順と手法について理解を深めることができる。		◎	○		△		

カリキュラム・マップ

コミュニティ福祉学部の教育目的	
「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。	

学修成果	
<p>&lt;学部全体&gt;  <b>◆学部理念・目的の習得</b>                  1. 「いのちの尊厳のために」(Vitae Dignitati)という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。                  2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。  <b>◆知識・技術の習得</b>                  1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。                  2. 導入教育として実施されている基礎演習をとおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。                  3. キャリア教育やインターンシップをにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。                  4. 完成期に配置されている演習科目等をとおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。                  5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的総合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。</p>	<p><b>◆現場に立った実地学習の習熟</b>                  フィールド型学習(福祉学科:福祉ワークショップ、コミュニティ政策学科:フィールドスタディ、スポーツウエルネス学科:スポーツウエルネスワークショップ、そして各学科で履修できるインターンシップ)を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。  <b>◆実践能力と研究能力の統合</b>                  人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴くことで生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。</p> <p>&lt;スポーツウエルネス学科&gt;                  1) 運動やスポーツを活用して、個々人のウエルネスを向上させ、さらにはコミュニティ全体のウエルネスを構築するための理論と方法論を学び、全ての人が豊かな人生を送ることができるウエルネスコミュニティの構築に貢献できる人材を養成する。                  2) しょうがいの有無にかかわらず、全ての人を対象に、個人の身体的可能性の追求とスポーツパフォーマンスの向上のための理論と方法論を学び、全ての人が豊かな人生を送ることができるウエルネスコミュニティの構築に貢献できる人材を養成する。</p>

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1)学部理念、目的の習得	2)知識・技術の習得	3)現場に立った実地学習の習熟	4)実践能力と研究能力の統合	5)運動やスポーツを活用し個々人のウエルネス向上、コミュニティ全体のウエルネス構築の理論と方法論を学ぶ	6)個人の身体的可能性の追求とスポーツパフォーマンスの向上のための理論と方法論を学ぶ	7)全ての人が豊かな人生を送ることができるウエルネスコミュニティの構築に貢献できる人材を養成する
スポーツウエルネス学入門	専門必修科目	1	個人や社会全体のウエルネスの向上を考えると、健康やスポーツがどのように関わるのかを、多角的な視点から学ぶ。	◎	○	○	○	◎	○	◎
運動方法学演習1(体操&フィットネス)	専門必修科目	1	エアロビックエクササイズ、フィットネスに関連する十分な知識やスキルを習得すると同時に、現代社会における健康の意味や運動の意義を理解する。	△	○	○	△	○	◎	○
運動方法学演習2(陸上競技)	専門必修科目	1	効率的な動きを習得するために、陸上競技の基本的なドリルを実践して、スポーツ競技の基礎となる走運動、投運動、跳躍運動を理解する。	△	○	○	△	○	◎	○
運動方法学演習9(水泳)	専門必修科目	1	水の特性を知り、水泳・水中運動を通じて、水中環境下での運動への理解を深めると同時に、健康づくり、体力向上の意義を理解する。	△	○	○	△	○	◎	○
基礎演習	専門必修科目	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	◎	◎					
スポーツウエルネスワークショップA	専門必修科目	1	少人数のゼミナール形式において、教員の講義だけでなく、学生による主体的な調査、討論、実習、プレゼンテーション等の実践的な学習を行う。	○	◎	○	○	○	○	○
スポーツウエルネスワークショップB	専門必修科目	2	少人数のゼミナール形式において、教員の講義だけでなく、学生による主体的な調査、討論、実習、プレゼンテーション等の実践的な学習を行う。	○	◎	○	○	○	○	○
スポーツウエルネスワークショップC	専門必修科目	2	少人数のゼミナール形式において、教員の講義だけでなく、学生による主体的な調査、討論、実習、プレゼンテーション等の実践的な学習を行う。	○	◎	○	○	○	○	○
卒業研究指導演習	専門必修科目	4	卒業研究の執筆・制作に関して、教員から指導・援助を受け作品を完成に向けて取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
卒業研究 ベイシックコース	専門必修科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
卒業研究 アドバンスコース	専門必修科目	4	これまでの学習の総括として、自らの関心に応じてテーマを設定し研究に取り組むことができる。	◎	○	○	◎			
社会調査法	学部共通科目	1~4	社会調査の意義・背景・方法に関わる基本的知識の習得ができる。	○	◎	△	○			
情報処理1	学部共通科目	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的パソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
情報処理2	学部共通科目	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方、効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎					
ウエルネス福祉演習	学部共通科目	1~4	ストレスに満ち溢れた現代社会にあって、「癒し」の体験は、ウエルネス向上を考えるうえでとても重要な要素となる。ここでは自然豊かな森の環境で実際に「癒し」を体験し、癒しを導くノウハウを学習することができる。	◎	◎	△	◎			◎
情報処理3	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					
情報処理4	学部共通科目	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎					

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目 区分	配当 年次	科目の学修成果	1)学部 理念、目 的の習 得	2)知識・ 技術の 習得	3)現場 に立った 実地学 習の習 熟	4)実践 能力と 研究能 力の統 合	5)運動 やスポ ーツを 活用し 個々人 のウエ ルネス 向上、 コミュ ニティ 全体の ウエル ネス構 築の理 論と方 法論を 学ぶ	6)個人 の身体 的可能 性の追 求とス ポーツ パフォー マンスの 向上の ための 理論と 方法論 を学ぶ	7)全て の人が 豊かな 人生を 送ること ができる ウエル ネスコ ミュニ ティの構 築に貢 献できる 人材を 養成す る
グローバル社会で活躍するための英語1 —海外の団体や外資系企業から学ぶ—	学部 共通 科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、国際団体など)	○	◎	◎				△
グローバル社会で活躍するための英語2 —海外の団体や外資系企業から学ぶ—	学部 共通 科目	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種を紹介するとともに、実際に必要な英語によるコミュニケーションに触れる。(主として、日本企業の商社、外資系企業など)	○	◎	◎				△
ノーマライゼーション論	学部 共通 科目	1~4	ノーマライゼーション原理誕生と発展プロセスを取り上げ、この原理を具現化するためにはどうしたらよいかを検討することができる。	◎						
キャリア形成論1 (福祉系)	学部 共通 科目	1~4	児童、障害、高齢、地域、精神、医療のソーシャルワーカーの領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
キャリア形成論2 (コミュニティ政策系・スポーツウエルネス系)	学部 共通 科目	1~4	コミュニティ政策・スポーツウエルネスの諸領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。		○	◎				△
異文化スタディ	学部 共通 科目	1~4	海外の研修地において社会問題に取り組む諸団体を訪問し、その支援方法を理解するとともに、英語研修、ホームステイにより、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	○	◎	◎	○			○
ウエルネス福祉論	学部 共通 科目	1~4	ウエルネスとは何かを理解し、生きがい感を持った全人的QOLの構築には何が必要かというテーマについて議論することができる。	◎	△	△	△			
現代キリスト教人間学	学部 共通 科目	1~4	現代社会において様々な理由によって自己を喪失して行く個とパートナーシップを欠如して行く個に対してキリスト教はどう応えているのかを考察することができる。	○		◎				
コミュニティ福祉とキリスト教	学部 共通 科目	1~4	ユダヤ教とキリスト教の伝統を事例にとりあげ、人間観とコミュニティ理念の形成に宗教が果たした役割を考察することができる。	◎	○	○	△		△	◎
人権論	学部 共通 科目	1~4	私達の身近に存在しているも気付かない関係ない難しいものと考えてしまう人権について弁護士の活動を通じた具体的な事例で認識し理解し考えることができる。	◎			○			
福祉文化論	学部 共通 科目	1~4	福祉文化とは何かを探究する。福祉文化の負の遺産に思いを馳せながらワクワクするような福祉文化実践に触れ、感じた事を表現し合う場を創出することができる。	◎						
生涯スポーツ論	学部 共通 科目	1~4	従来の「スポーツ振興」の概念とは異なるスポーツプロモーションの視点から生涯スポーツ論の性格、内容、展開の現状や特徴について理解することができる。		◎	△		◎		○
社会保障総論	学部 共通 科目	1~4	社会保障の概念やわが国の社会保障制度の概要を理解し、医療保険及び介護保険を通じて、社会保険に関する基礎知識を身につけることができる。	○			◎			
いのちの倫理学	学部 共通 科目	2~4	学生は、現代社会における「生活」、「生命」、「いのち」をめぐる諸問題について資料に基づきながら現状に対する理解を深め、自分の意見を形成することができる。	◎	◎	△	△			○
高齢社会システム論	学部 共通 科目	2~4	高齢社会を歴史的変革期として理解し、老いをめぐる問題を現代人全世代の生き方が問われる問題として考え、これからの社会への展望につなげる術を模索することができる。	◎		△				
ジェンダー論	学部 共通 科目	2~4	ジェンダー概念を基礎にして、「みよとしなければみえないものをみる力」を各自が醸成すること、自分の可能性を広げることができる。	○	○		◎			
障害学入門	学部 共通 科目	2~4	障害という様々な身体的特質を持つ人たちと、彼らに関わる人たちの話を聞き、その出会いを通じて想像力と可能性を広げ養うことができる。	◎		△	○			
家族社会学	学部 共通 科目	2~4	家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学ぶことをとおして、誰もがもっている家族についての「常識」を相対化することができる。	○			◎			
人間心理の深層	学部 共通 科目	2~4	時として真善美に反したことを考え行動してしまう人間存在とは一体何なのか、それ以前に真善美は人間から超越して存在しうるのかといった事柄について考察する力を身につけることができる。	○		△	○			○
日本の文化と思想	学部 共通 科目	2~4	文化政策を個々の地域で展開していく際、その地域の伝統的な文化や生活観・労働観を如何なる形で取り込んでいったらよいかを考察するための基本的な事柄について知ることができる。	◎	○					○
発育・発達・加齢論	学部 共通 科目	2~4	発育・発達の性差と個人差、運動との関係、現代のこどもの諸問題、加齢に伴う生体構造、機能の変化についての知識を深めることができる。	○	△	○				
コミュニティ平和論	学部 共通 科目	2~4	人間の生命とその生存基盤(サブシステム)を重視し、戦争だけでなく暴力のない持続可能な社会をめざす平和学を、各地の現実や現場の実践から理解することができる。	◎	◎	△	○		△	◎
家族心理学の基礎	学部 共通 科目	2~4	家族システムや家族への援助に関する具体的な基礎知識を学ぶことができる。		○	○	○	◎		
ファシリテーション論	学部 共通 科目	2~4	コミュニティやグループの合意形成と協働を促すファシリテーションの技術を習得し、自身で実際にファシリテーションを企画・実施できるようになる。	○	△	△			◎	△
ライフサイクルの心理学	学部 共通 科目	2~4	人間のライフサイクルを通じた発達プロセスについて理解し、人間理解を深めると共に対人支援の方法について考えることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎
地域コミュニティと生協	学部 共通 科目	2~4	生協の事業や活動の実践を学ぶことを通して、地域における協同と連帯の力によって問題解決にあたることの意義や可能性を考えることができる。	◎	○	◎	△			○
セクソロジー	学部 共通 科目	3~4	人間の性について、身体的発達、心理的発達、社会関係の発達の側面から学び、現代社会における性の問題をさまざまな角度から考察することができる。	◎	◎	○	○			
グリーフスタディ	学部 共通 科目	3~4	様々な局面から生じるグリーフ(悲嘆)とグリーフワーク、その支援についての理解を深めることができる。	◎	○	○				

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目 区分	配当 年次	科目の学修成果	1)学部 理念、目 的の習 得	2)知識・ 技術の 習得	3)現場 に立った 実地学 習の習 熟	4)実践 能力と 研究能 力の統 合	5)運動 やス ポーツ を 活用し 個々人 のウエ ルネス 向上、 コミュ ニティ 全体の ウエル ネス 構築の 理論と 方法論 を学ぶ	6)個人 の身体 的 可能性 の追求 とス ポーツ パフォー マンス の向上 のため の理論 と方法 論を学 ぶ	7)全て の人が 豊かな 人生を 送るこ と ができる ウエル ネス コミュ ニティ の構築 に 貢献 できる 人材を 養成す る
アジアの宗教と文化	学部 共通 科目	3~4	東アジア、南アジアさらに中東などのアジアの宗教と文化の基礎的な知識を身につけることができる。	○	○					○
社会福祉発達史1	学部 共通 科目	3~4	ヨーロッパやアメリカにおける社会福祉の発達史を学ぶことによって、社会福祉とは何かということを理論的に学習し、視点や枠組みを獲得することができる。	○			◎			
社会福祉発達史2	学部 共通 科目	3~4	日本が抱える社会福祉の課題を、社会福祉のあゆみから実証的に指摘することができる。	○			◎			
リスクマネジメント論	学部 共通 科目	3~4	これまでにみられる数々のリスクマネジメントの現状を把握すると同時に、実際に起きたスポーツ事故を取り上げ、事故予防の観点から、事故の詳細について様々な角度からの把握に努める。また、安全対策および心肺蘇生法をはじめとした対処方法を考え、安全なスポーツ環境の構築に向けた課題解決へのアプローチ方法を考察することができる。		◎	○	○			
公共哲学	学部 共通 科目	3~4	公共哲学の「入門」から「応用編」まで学び、他者との共存の作法を模索する公共哲学の原理と歴史について理解を深めることができる。	◎	◎	△	△	◎	◎	◎
運動方法学演習3 (球技:屋外ゴール型)	専門 基礎 科目	1~4	サッカーの技術、戦術、ルール、指導法等について学び、これらの球技を楽しめる能力を身につける。また健康の維持増進という観点から、無酸素運動と有酸素運動が混合した球技特有のトレーニング効果を理解することができる。		○	◎		◎	◎	△
運動方法学演習4 (球技:屋外ネット型)	専門 基礎 科目	1~4	生涯スポーツに適したテニスにおける基本技術の習得とテニスに必要な体力の向上を図り、最終的にゲームの楽しさを理解することができる。		○	◎		◎	◎	△
運動方法学演習5 (スキー)	専門 基礎 科目	1~3	受講者それぞれの技術に応じ、どのような斜面でも楽しく滑走できるようになる。また、スキーの指導法に関しても身につけることができる。	○	○	△	○	◎	◎	○
運動方法学演習6 (野外活動:キャンプ)	専門 基礎 科目	1~4	豊かな自然環境の中でアウトドア活動を行い、自然に親しみ、同時に環境問題について考えることができる。	○	○	△	○	◎	◎	◎
運動方法学演習7 (球技:屋内)	専門 基礎 科目	1~4	バスケットボールやバレーボールなどの屋内球技種目の技術、戦術、ルール、指導法等について学び、これらの球技を楽しめる能力を身につける。		○	◎		◎	◎	
運動方法学演習8 (武道)	専門 基礎 科目	1~4	剣道、柔道、相撲などの武道種目の技術、戦術、ルール、指導法等について学び、これらの武道種目を楽しめる能力を身につける。		○	◎		◎	◎	
循環器検査・救急処置演習	専門 基礎 科目	1~4	循環器検査として、心電図の基本的な理解とともに負荷心電図などの運動負荷試験を修得する。また、救急救命に必要な知識を理解し、現場での対処法を修得する。		◎	◎	○	○		
ウエルネス科学総論	専門 基礎 科目	1~4	現在、国内で動いている健康に対する考えと取組みを理解し、人間の幸せとは何かを多面的に掘り下げ、個の価値観を尊重する考え方を身につけることができる。	○	◎		△			◎
運動処方・療法	専門 基礎 科目	1~4	運動指導の専門家として健康づくりの重要性を認識・理解するとともに、一般の人が健康のために運動しようとする場合の運動処方が的確に行えるように理論と知識を幅広く身につける。また、生活習慣病を有する人々の運動療法の実際の運動プログラムを作成できるようになることを目標とする。	○	◎	○	○	◎		△
生理学	専門 基礎 科目	1~4	運動を発生させるための人体のメカニズム、ならびに継続的な運動体験が人体に及ぼす生理学的な影響に関して理解することができる。		◎		◎	○	△	
運動生理学	専門 基礎 科目	1~4	運動を発生させるための人体のメカニズム、ならびに継続的な運動体験が人体に及ぼす生理学的な影響に関して理解することができる。	△	○	△	○	◎	◎	○
介護概論	専門 基礎 科目	1~4	介護を必要とする人々や、介護者が直面する介護課題を理解し、その支援方法や実践課題を考察することができる。	○	◎	◎				△
スポーツ科学総論	専門 基礎 科目	1~4	スポーツを科学的に探求する様々な研究分野を学び、スポーツに関する偏った判断やあいまいな考えよりも、科学的手法を用いて観察した情報や実験結果が信頼されるものであることを理解することができる。スポーツ科学の「研究」成果を指導や報道などの「現場」へ伝える「通訳」となれるように、正確な知識を身につけることができる。		○		◎		◎	
運動方法学	専門 基礎 科目	1~4	スポーツ・運動を指導する際の方法的な基礎を養うために、解剖学、運動生理学、運動力学といった基礎科学から、身体運動の基本となる動きの概念、さらに、スポーツ種目に応じた記録の向上や合理的な身体運動のメカニズムを理解することができる。		◎	△	△	◎	○	
解剖学	専門 基礎 科目	1~4	運動器の解剖を中心に学習し、代表的なスポーツ疾患を理解する上で必要な解剖学を理解することができる。		◎				△	△
トレーナー演習 (テーピング、マッサージ)	専門 基幹 科目	2~4	現代社会におけるスポーツの重要性を理解し、それらに積極的に参加し、普及する心を育む。そのために必要な最低限の知識と技術を身につけることができる。		◎	◎			△	
測定評価演習	専門 基幹 科目	2~4	本授業では、人々の健康づくりやスポーツ選手の競技力向上に役立てることを目的とした体力測定と評価のスキルを体験的に習得することができる。		◎		○	○	△	
アダプテッドスポーツ論	専門 基幹 科目	2~4	身体に障害をもつ人々にとって身体運動はどのような意義をもつのか、という問いに対して、学生一人一人が考え、自分の意見をまとめることを到達目標とすることができる。	◎	◎			○		○
ウエルネススポーツ医学	専門 基幹 科目	2~4	ウエルネスに必要な医学的知識を学ぶとともに、スポーツ医学として外傷・障害の基本的知識と対処法を修得することができる。	◎	◎	○	△			○

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目 区分	配当 年次	科目の学修成果	1)学部 理念、目 的の習 得	2)知識・ 技術の 習得	3)現場 に立った 実地学 習の習 熟	4)実践 能力と 研究能 力の統 合	5)運動 やス ポーツ を 活用し 個々人 のウエ ルネス 向上、 コミュ ニティ 全体の ウエル ネス 構築の 理論と 方法論 を学ぶ	6)個人 の身体 的 可能性 の 追求と ス ポーツ パフォー マンス の 向上の ための 理論と 方法論 を学ぶ	7)全て の人が 豊かな 人生を 送ること ができる ウエル ネス コミュ ニティ の 構築に 貢献 できる 人材を 養成す る
生活習慣病の科学	専門 基幹 科目	2~4	生活習慣病について、病気の概念を理解する。この理解を基に、生活習慣病を予防法に関して考察することができる。		○			○		◎
身体文化論	専門 基幹 科目	2~4	スポーツ(最広義のスポーツ)を文化の問題として考える方法を身につけることができる。					◎	○	◎
スポーツ政策	専門 基幹 科目	2~4	スポーツに対する政策の社会科学的なとらえ方、およびその歴史的展開と現代社会におけるスポーツ政策の特徴や課題について理解することができる。	△	○	○	◎	◎		○
健康政策	専門 基幹 科目	2~4	授業を通じて、1)医療保険/介護保険制度の概要 2)医療/介護サービス提供体制 3)サービス受給者 の実態などを理解することができる。	○	○	◎	◎			△
スポーツコーチ学	専門 基幹 科目	2~4	スポーツのコーチングにおける諸問題についてスポーツ科学がどれだけ接近できているのかについて理解し、スポーツ指導者の素養を身につけることができる。		△	○	○	△	◎	△
スポーツ社会学	専門 基幹 科目	2~4	スポーツとそれを取り巻く様々な問題を社会的に検討し、スポーツと現代社会をめぐる理論的、実践的課題とその乗り越えの可能性を検討することができる。	◎	○	△	△	◎	○	○
ストレングス・コンディショニング論	専門 基幹 科目	2~4	体力(ストレングス)と心身の状態(コンディション)を改善させる方法について、理論的背景を踏まえ、実施上のポイントを理解することができる。		○		◎	○	◎	
運動・スポーツ栄養学	専門 基幹 科目	2~4	運動生理学およびトレーニング科学の視点から栄養学を捉えなおし、スポーツ栄養学の基礎を学ぶとともに、運動実践者に対する栄養指導の実際を理解することができる。		◎		○	○	◎	○
スポーツウエルネス心理学	専門 基幹 科目	2~4	スポーツ活動およびウエルネス向上に必要なストレス反応や行動変容理論などの基礎的な知識、ならびにそれらを応用する実践的知識が理解できる。		◎	○	◎	○	◎	
余暇生活論	専門 基幹 科目	2~4	「余暇権」の尊重された社会を確立するために、仕事と遊びの関係を見直し、個人と社会の両面から、来るべき「余暇社会」のデザインを描くことができる。		△	◎		○		◎
海外留学・海外インターンシップを目指す人への英語(スポーツウエルネス系)	専門 基幹 科目	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。スポーツウエルネスの分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を学ぶ。	○	◎	◎				△
英語で学ぶスポーツマネジメント・スポーツビジネス	専門 基幹 科目	2~4	スポーツウエルネスに関するトピックスを英語で学ぶ。本科目は英語を勉強する科目ではなく、英語を言語としてスポーツウエルネスを学び、自分の意見を伝えることができる。		◎	◎		○	○	○
レクリエーション援助演習	専門 展開 科目	3~4	主に人間交流による生きる喜びづくりにつながるレクリエーション援助技術の理論と方法について考究することができる。	○	◎	○	◎	◎	△	○
ユニバーサルスポーツ援助技術演習	専門 展開 科目	3~4	スポーツに人間が合わせるのではなく、人間にスポーツを合わせる、全ての人が楽しめるスポーツのあり方とその援助技術の理論と方法について考究することができる。	○	◎	○	◎	◎	○	○
健康運動指導演習	専門 展開 科目	3~4	健康や運動に関する国内外のデータを検討することから運動実施者増加に向けて解決すべき課題を把握し、さらに、運動実施者一人ひとりに合わせた適切な運動指導の方法について実践的に習得することができる。	○	○	○	○	◎	◎	◎
障害者スポーツ実践論	専門 展開 科目	3~4	障害のある人が、親しんでいるスポーツの支援法について学ぶとともに、障害の有無を問わずに、スポーツを親しむための方法についても学ぶことができる。また、それらにより、コミュニケーション能力の向上を図ることができる。	△	◎	○		○		○
動作分析法演習	専門 展開 科目	3~4	スポーツの動作や身体運動をより客観的に評価し、パフォーマンスの素晴らしさを伝えることは大切なことである。この授業では、主にビデオ撮影によって記録された映像をもとにして、二次元解析のコンピュータソフトを用いて、角度、速度、距離等のデジタルデータから身体動作の分析・検討することができる。		○	○	◎		◎	
スポーツコーチング演習	専門 展開 科目	3~4	スポーツのコーチングにおける諸問題について指導実践や運動分析などを通して学び、スポーツ指導者の素養を身につけることができる。				○		○	△
インターンシップ	専門 展開 科目	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	○
専門演習1	専門 展開 科目	3~4	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	○	○	◎	◎			△
専門演習2	専門 展開 科目	3~4	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	○	○	◎	◎			△
コミュニティスポーツ論	専門 展開 科目	3~4	コミュニティにおけるスポーツのあり方、スポーツのコミュニティ形成機能等の議論を踏まえ、実践的課題とその乗り越えの可能性と方法について考究することができる。	◎	○	△	◎	◎	○	○
ウエルネスプロモーション論	専門 展開 科目	3~4	ウエルネス推進に関連する国内外のデータを検討し現状を把握すると同時に、先進的な事例を取り上げ多角的に分析することを通して、これからの社会に求められる環境、政策の具体的な在り方について考究することができる。	○	◎	△	○	◎		◎
レクリエーション援助論	専門 展開 科目	3~4	主に、人間交流による生きる喜びづくりにつながるレクリエーション援助の理論について考究することができる。		◎	◎		◎	○	△
小児保健・精神保健	専門 展開 科目	3~4	次の世代を担う子どもたちが健康的に各々の生を全うするために、小児の特徴、小児保健の意義等について学びながら、大人たちが整えるべき望ましい環境の在り方について考えることができる。また、人生の各ライフステージにおける心の健康に影響する要因について理解しながら、発達障害とその対応についても知る事ができる。		○	◎	○			△

コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目 区分	配当 年次	科目の学修成果	1)学部 理念、目 的的習得	2)知識・ 技術の 習得	3)現場 に立った 実地学 習の習 熟	4)実践 能力と 研究能 力の統 合	5)運動 やス ポーツ を 活用し 個々人 のウエ ルネス 向上、 コミュ ニティ 全体の ウエル ネス 構築の 理論と 方法論 を学ぶ	6)個人 の身体 的 可能性 の 追 求とス ポーツ パフォー マンス の 向上の ための 理論と 方法論 を学ぶ	7)全て の人が 豊かな 人生を 送ること ができる ウエル ネス コミュ ニティ の 構築に 貢献 できる 人材を 養成す る
メンタルマネジメント	専門 展開 科目	3~4	ストレス反応や行動変容理論などの基礎的な知識、さらにストレスを生じないあるいはストレスフルな状況に負けない考え方を理解することができる。		◎	△	◎			○
障害者スポーツ論	専門 展開 科目	3~4	わが国の障害のある人々(身体障害者・知的障害者)のスポーツを中心にその現状と動向について論じ、これからの障害者スポーツを多面的に展望することができる。	○	△	○		○	○	◎
リハビリテーション論	専門 展開 科目	3~4	社会福祉を学ぶ学生にとって、必要不可欠なりハビリテーション関連知識ならびに考えることができる。	○	◎	○			△	○
スポーツビジネス論	専門 展開 科目	3~4	この授業ではスポーツ選手、スポーツ観戦者、スポーツチーム運営者など様々なステークホルダーに関してビジネスが成立するためには何が重要なのかについて考察する。また、スポーツビジネスのキーワードとなる「地域」については管理者指定制度など地域行政と関連した動きについて理解することができる。		○	◎	◎			△
スポーツジャーナリズム	専門 展開 科目	3~4	本講義では、スポーツとメディアの現代的な関係と機能、さらにスポーツのメディア性についてクリティカルに考究することができる。		△	◎	◎	△		△
スポーツ倫理学	専門 展開 科目	3~4	スポーツ倫理学の基本的文献講読を通して、問題の所在を明らかとし、問題解決を模索する。スポーツの場でみられる諸課題について、倫理的な視座から今日的な指針を検討することができる。	○	○			○		○
バイオメカニクス	専門 展開 科目	3~4	スポーツパフォーマンスをバイオメカニクスの分野から分析・評価することは、スポーツ指導者やリハビリテーションなど運動療法に関わるものにとって重要な素養となる。この授業では身体運動の巧みさや力強さを理解することを目的としてバイオメカニクスの基礎を理解することができる。		○	○	◎		◎	
スポーツマネジメント論	専門 展開 科目	3~4	我が国でスポーツ(以下略:S)が体育と混同されてきた。「Sとは何か」を理解、「Sマネジメント」と「Sマーケティング」の構造を理解することができる。		○	◎	◎			△
スポーツコーチング特論	専門 展開 科目	3~4	この授業では、アスリートコーチングに関する実践的研究をもとにスポーツコーチングの捉え方と方法論を検討することができる。		◎	◎	△	△	○	
公衆衛生学	専門 展開 科目	3~4	これから日本が向かえるであろう極端な高齢化社会の中で、いかに個人のQOLを高く保つかという点を念頭に置き、疫学と感染症の予防、環境保健、成人保健、精神保健、産業保健、健康教育、社会保障と医療、健康科学を理解することができる。		○	◎	○			
社会学1	専門 関連 科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
社会学2	専門 関連 科目	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学び、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○			◎	○		◎
心理学1	専門 関連 科目	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○			◎			◎
心理学2	専門 関連 科目	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。			○	◎			◎
法学1	専門 関連 科目	1~4	国の最高法規である憲法について理解する。福祉士国家試験や公務員試験を中心に、日常生活にも対応できる内容を目指すことができる。	○	○		○	△		◎
法学2	専門 関連 科目	1~4	民法を中心に権利擁護制度について理解する。成年後見制度や消費者保護、虐待防止関係の法制度を概観し、福祉士国家試験や日常生活に対応することができる。	○	○		○	○		◎
政治学	専門 関連 科目	1~4	映画を題材にしなが、政治学が扱ってきたテーマを学ぶとともに、政治学の考え方や基本概念を理解し、直面している問題について政治学の視点から考えることができる。	○			○	△		
経済学	専門 関連 科目	1~4	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につけることができる。	○			◎	△		
地理学1	専門 関連 科目	1~4	人文地理学および地誌学を学ぶための基本的な知識を習得することができる。		◎			△		
地理学2	専門 関連 科目	1~4	人文地理学および地誌学を学ぶための基本的な知識を習得することができる。		◎			△		
日本史1	専門 関連 科目	1~4	19世紀後半~20世紀初頭における日本近代史を近代国家建設の過程や国際関係を中心に概観しながら、戦前の国家体制への理解を深めていくことができる。		◎			△		
日本史2	専門 関連 科目	1~4	1930年代以降の日本近現代史につき、政治外交史を中心に概観し、なぜ、日本が戦争の道を進んでいったのかを理解することができる。		◎			△		
外国史1	専門 関連 科目	1~4	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解し身につけることができる。		◎			△		
外国史2	専門 関連 科目	1~4	歴史学は時間のスパンで物事を見ていくという一つの認識方法であることを、具体的歴史事象から理解し身につけることができる。		◎			△		
地誌学	専門 関連 科目	1~4	授業では、日本地誌を通して、国土構造のあり方に関心を払いながら、現実にかけている多様な現象への認識を深め、考えることができる。		◎			△		
生涯学習概論1	専門 関連 科目	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△		
生涯学習概論2	専門 関連 科目	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解していくことができる。		◎	△		△		



コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科(課程)の カリキュラム				コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)						
科目名	科目 区分	配当 年次	科目の学修成果	1)学部 理念、目 的の習 得	2)知識・ 技術の 習得	3)現場 に立った 実地学 習の習 熟	4)実践 能力と 研究能 力の統 合	5)運動 やス ポーツ を 活用し 個々人 のウエ ルネス 向上、コ ミュニ ティ全 体のウ エルネ ス 構築の 理論と 方法論 を学ぶ	6)個人 の身体 的可能 性の追 求とス ポーツ パフォー マンスの 向上の ための 理論と 方法論 を学ぶ	7)全て の人が 豊かな 人生を 送ること ができる ウエル ネスコ ミュニ ティの構 築に貢 献できる 人材を 養成す る
社会教育施設論1	専門 関連 科目	1~4	生涯学習との関連で、人びとの学習活動を支援する社会教育施設の役割について検討することができる。		◎			△		
社会教育施設論2	専門 関連 科目	1~4	生涯学習との関連で、人びとの学習活動を支援する社会教育施設の役割について検討することができる。		◎			△		
社会教育計画1	専門 関連 科目	1~4	社会教育計画、生涯学習振興計画の原理と理論と、タイプ別の企画・立案の手順の概略を理解することができる。		◎	○		△		
社会教育計画2	専門 関連 科目	1~4	生涯学習・社会教育における事業計画の具体的な企画・立案の手順と手法について理解を深めることができる。		◎	○		△		